



つづみがうらしょうがっこう
鼓ヶ浦小学校だより

つづみがうら

鼓ヶ浦キッズ

がっこうきょういくもくひょう ち・どく・たい ちょうわ
学校教育目標：「知・徳・体 調和のとれたこどもの育成」

がっこう たの あした き おも がっこう
～学校が楽しい、明日も来たいと思える学校～

れいわ ねん がつ にち きん
令和8(2026)年7月3日(金) No.11

4年生 出前授業がありました

7月2日(木)の3.4時間目に4年生の出前授業がありました。今年も「ウミガメネットワーク三重」の米川さんをはじめ、鼓ヶ浦地区のおじさんセミナーのみなさんにもお世話になりました。

鼓ヶ浦海岸もアカウミガメの産卵する場所のひとつですが、昨年は産卵がありませんでした。今年も今のところ産卵は確認されていません。

母ガメは、卓球の球くらいの大きさの卵を一度に100個ほど産卵するそうです。上陸して産卵し、海に戻るまで1～2時間ほど時間を要します。そして、約2か月後、孵化した子ガメたちが海をめざします。

しかし、このあたりの地域での上陸回数も産卵数も減少しているのが現状です。

北大西洋に生息するアカウミガメの産卵場所は、日本だけといわれています。ダム建設等の治水工事による海岸の縮小化や地球温暖化による海面の上昇にともなう海岸の減少等、ウミガメにとって産卵が難しい状況にあります。

ウミガメの生態を通して、環境について考えるよい時間になりました。

年に2回行われる海岸清掃への参加などを通してあらためて自然環境保護について考えていき、自分にできることは何か考えて行動できるようになるといいですね。



しゅくはくがくしゅう

宿泊学習がありました



7月1日(水)～2日(木)の2日間、5.6年生の宿泊学習がありました。

スズカト(三重県立鈴鹿青少年センター)での宿泊を中心によりよい集団生活を送るために自分にできる役割を考えて行動したり、協力する大切さを意識しながら活動したりできるように様々なことに取り組みました。



バスでスズカトに向けて出発しました。到着したら、職員の方から、布団のシーツの使い方を教えてもらい、スズカトを利用する際の注意事項などのお話を聞きました。

入所式がすんだら、お楽しみの鈴鹿サーキットに歩いていきました。アトラクション乗り放題のパスポートとランチ券を受け取ったら、行動班ごとに事前に相談していたアトラクションへ出発です。途中で雨模様になりましたが、元気に園内を回り、たくさんのアトラクションと昼食をグループで楽しんでいました。



宿に戻って荷物を各部屋に片づけたら、野外炊飯です。事前に家庭科で練習したカレーを班ごとに作りました。かまどやカレー、ごはん等、それぞれ担当の仕事だけでなく、声をかけあい、協力して作っている姿がみられました。でき上がったら班ごとにカレーライスをいただきました。



あいにくの雨模様が続き、キャンプファイヤーをすることができませんでしたので、総合研修室でキャンドルファイヤーとなりました。それでもスタンプ等をみんなで楽しんでいました。あつという間の時間でした。夜食にパンを食べて、お風呂に入ったら、おやすみなさいです。

2日目は、朝食を食堂で協力して配膳し、みんなでいただきますをしました。朝からおかわりしてもりもり食べる子もいました。



総合研修室で退所式と学年で考えたレクをみんなでしたあとは、学校へ戻ります。でも、まだ終わりではありません。理科室と図工室に分かれて鈴鹿市考古博物館の方々を招き、自分だけの勾玉づくりをしました。さっそく、首にかけていました。この2日間で友だちの新しく気づいたよさが、たくさんあったことでしょう。